



■佐藤陽子さん、42歳。会社員の佐藤さんは、現在東京で一人暮らし。遠く離れた両親に毎月仕送りをしています。しかし昨今の不況で収入は減るばかり。150万の借金をかかえながら、日々の生活費にも苦しみ、最近では食欲もなく、眠れない日が続いています。



(相談窓口)

相談員：こんにちは。どうされましたか？

サトウ：（元気がなく、落ち込んだ様子。顔色は良くない）
少し聞きたいことがあってきました・・・

相談員：なんでしょう？

サトウ：はあ～、ちょっと・・・

相談員：そうですか。（やや怪訝な様子）
まあ、それではそちらへどうぞ。座ってください。

サトウ：（軽いうなずき）

相談員：お名前は？

サトウ：ハイ、佐藤陽子といいます。

相談員：本日はどんな用件でいらっしゃいましたか？

サトウ：生活費が苦しく、滞納していたので相談に来ました…
（本当は借金があり、自殺対策のリーフレットを見てきたのだが、言い出せない）

相談員：そうですか？それでは情報確認してみますね。少々お待ちください。
（それ以降は情報を確認している）

（確認し戻ってくる）

相談員：サトウさん、確かにこちらの窓口で2か月ほど滞納されていますね。
どうして滞納されてるんですか。

サトウ：・・・実は借金があって

相談員：それでは仕方ないでしょうけど。（さらに困った様子で）
早く入れてもらえないとこちらでも困るんですよ。



サトウ：・・・・・・・・・・、すみません。

相談員：今、何されていますか？

サトウ：会社勤めです・・・・・・・・。

相談員：仕事してるのなら、お金が足りなくなるはずはないでしょ。どうしたんですかいったい？



サトウ：・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・。

相談員：それに、借金のこと、家族は知ってるんですか？

サトウ：いえ。

相談員：そんな大事なこと、ここで相談する前に、まずはご家族に相談しなきゃ。

きっと心配して相談にのってくれるはずよ。
まずはお金をなんとかしないとね。滞納は困りますよ。



サトウ：実はこれを見て…（自殺対策のリーフレットを見せる）。
借金の相談ができるって書いてあるので…。

相談員：なんですか、それは？

サトウ：自殺対策のリーフレットです。いろいろな窓口で相談にのってくれるって。



相談員：ここでは借金の相談まではできないですしねえ。
借金の相談窓口はここではなくて、消費生活センターの窓口です。
早めに行かれたらいいと思いますよ。

サトウ：はい。

相談員：とにかく滞納分は払ってもらわないと。理由はわかりましたけど…。



サトウ：・・・・・・・・すみません。

相談員：借金については、そちらでまず相談してください。

サトウ：でも、どうやって相談したらいいか分からないんですけど・・・・・・・・。

相談員：大丈夫。相談にのってくれるって書いてあるし、大丈夫ですよ。

それにご自分の借金でしょ。何とかしないとみな困りますよ。

サトウ：はい・・・

相談員：ほかは大丈夫ですか。

サトウ：少し、気分がすぐれない時があります（打ち明ける）。

相談員：そりゃ、そうですね。借金もあるんじゃないですね。

サトウ：……。少し死にたくなることもあります。

相談員：弱気になっているみたいですが、まずは借金をなんとかしたら元気になりますよ。

そんなバカなこと考えないようにしてくださいね。

まさか、自殺なんてしたら、私も含めてみなさん困りますから、絶対だめですよ。

サトウ：・・・・・・・・。

相談員：しかし、なんで死にたくなるんでしょうねえ。死にたいって、死ぬ気になったら、なんでもやれるでしょ。

サトウ：・・・・・・・・、はい、すみません。

相談員：ほかにはよろしいですか。

サトウ：・・・はい。

相談員：とにかく滞納の理由はわかったけれど、それは理由にはならないし、

とにかく早めにお金を入金してくださいね。

借金が大変なのはわかるけど、こっちも困りますから。

サトウ：・・・はい



相談員：いろいろ悩んでいるようですが、まず生活費を工面して、何とかやってください。



サトウ：・・・はい。（沈んでいる…）

相談員：なんか、元気ないですね。サトウさん、しっかりしなきゃね。頑張ってね。



サトウ：ハイ。ありがとうございます。（来た時よりさらに沈んで退席。部屋を出る）